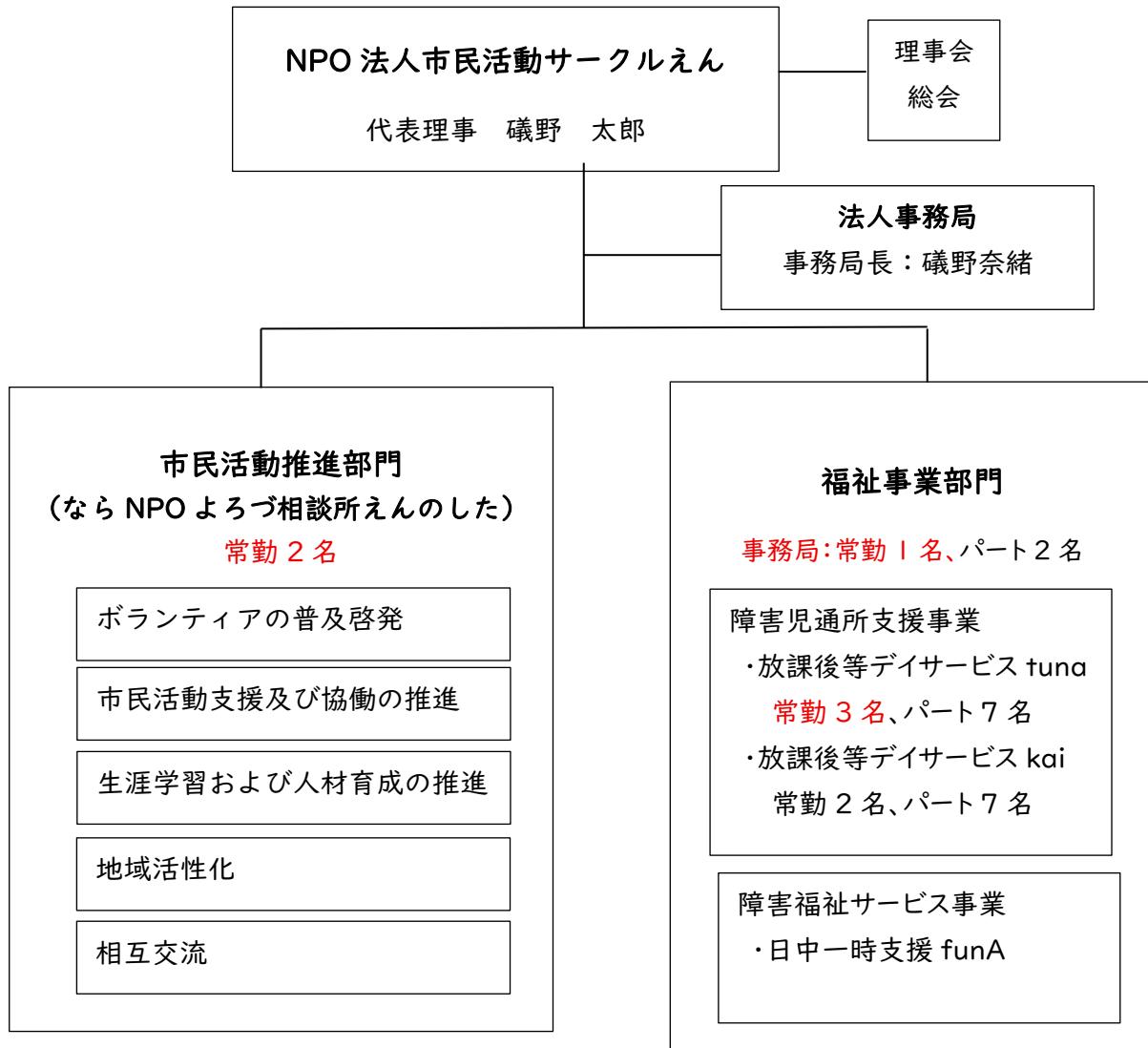


特定非営利活動法人市民活動サークルえん

2025 年度事業計画（案）

※赤文字は 2025 年度新規事業

0. 組織編制・人員配置



I. 福祉事業部門

福祉部門が発足当初より理念として掲げ実践してきた、自力通所の促しや不登校児童の居場所づくり、要保護児童の受け入れなどが報酬改定により正式に認められ、2024年度も変わらず社会課題へ向き合ってきた。そんな中、学校連携も重要な位置づけとして推奨されたがその機会が少なく、能動的に繋がろうとする動きも取れていなかったことを鑑みて、今年度は主に地域の小中学校や様々な高校と前向きにやりとりをさせていただき、サポート内容を最適にするためにも本人の現状を正しく把握できるように努めていきたい。

2025年度は人材育成と適材適所を主眼に置き、積極的に新規採用や新卒を含めたパート雇用から正規雇用への移行を促し受け入れた。本人の希望を聞きつつ、特性やキャリアを見極め、事業所の実情を考慮して配属したが、今後は雇用形態に縛られず熱意とセンス（感覚や判断力）と責任感が見えれば、自由な発想で新しい業務や働き方、役職やシステムを導入していき、当法人福祉部門の在り方を磨き構築していく。

（1）自立訓練型放課後等デイサービス tuna

前年度に14名のメンバーが卒業しスタッフの新規雇用や異動によってtunaの雰囲気が大きく変わることが予想される。今一度福祉支援者としての基本を抑えながら中高生の集団支援に関する知見を深め、スタッフそれぞれが自身の経験を最大限に活かしニーズや時流に答えられる形へと昇華していく必要性を感じている。

今年度からは新たな卒業生支援の形として2024年度卒業生の発案によるOB団体の発足をバックアップする。構想段階ではあるがまずはtunaとの合同企画を軸に活動をしていく。卒業生として現役メンバーにこれまでや進路先での経験を還元したりいすれば単独での制作活動やマルシェ出店など、卒業生が活動できる場を福祉の制度に頼らない形で作り上げていく。2025年秋ごろ始動予定。

（2）個別対応型放課後等デイサービス kai

昨年度に引き続き利用希望者が増加傾向にあり、全ての月で前年度比を上回る利用者数となった。しかし、一事業所で受け入れられる人数のほぼ上限に達したので、これからは増やすのではなく質の向上を図りたい。具体的には支援方法の最適化、保護者の負担軽減、関係機関や地域活動者との連携に注力する。

利用者がより安心して快適に過ごせるようスタッフから意見を聞き取り、玄関に手洗い場、安定した室温を保つための空気循環システム、そして今年度は一階のトイレを洋式に取り換える予定など、少しずつ設備環境を整えている。

当初から不登校や通信制高校在学の利用者で開所時間の11時から既に営業状態だったが、2025年度はその人数が更に増えて平日でも日中から複数人が活動すると予想される。本人たちが安心して過ごせる居場所や経験不足にならないような学びの提供を継続しつつ、そんな子どもたちに勉強や遊びを通じた対話から何かで貢献したいと希望するが、なかなか夜は働きに出られない層のスタッフに活躍の場を創出いく。

（3）日中一時支援 funA（フナ）

安心して過ごせる場の提供。家族のレスパイトおよび本人の余暇活動支援に寄与する。

週末だけでなく平日の受入もおこない、居場所としてだけでなく、悩みを打ち明ける場や、自習、自分のやりたい事を実現させる場として提供する。

さらに、日中一時支援制度を使わない卒業生の受け入れ体制を整備し、卒業生なら誰でも気軽につながりつけられる場を作っていく。

2. 市民活動推進事業部門

スタッフが増えたことで、これまでマンパワー不足により着手できなかった事業活動を広げることが可能となった。

2025年度は『ならNPOよろづ相談所えんのした』の機能拡充を重点的に事業を進めていく。

(1) ボランティア普及啓発事業

①ならボラ

休日の新しい楽しみ方として、奈良県内各地で行われている多彩なボランティア体験プログラムをプロデュース。

プログラム名	実施頻度 (初回開催日)	tuna & funAとのコラボ
コスモス育成ボランティア（奈良）	毎月第1日曜日 (5/4)	有
電動車椅子サッカーボランティア（田原本）	毎月1回 (5/25)	一部有
お手紙作成ボランティア（橿原）	7月・11月・3月 (7/20)	有
施設装飾ボランティア（生駒）	偶数月開催 (4/26)	有
わらしへ市裏方ボランティア（生駒） ※一定の役割を終えるため2025年度中に終了	毎月第3土曜日 (4/19)	funAのみ有 kaiは適宜個別対応
保護犬のお世話ボランティア（生駒）	不定期（未定）	
中高生と体育館で遊ぶボランティア（生駒）	不定期	有
菜の花を育てるボランティア（奈良）	毎月第1土曜日 (4/5)	funAのみ有
里山保全ボランティア（桜井）	不定期	

②有償ボランティアコーディネート

主に、福祉事業部の利用者や社会とつながりにくい状況下にある若者を対象に、職業体験の一環として有償ボランティアの紹介をおこなう。

活動先：もりもりキッチン、グリーンハウスマルシェ、他

(2) 市民活動の支援および協働の推進事業

①ならNPOよろづ相談所「えんのした」

会員制を導入し、NPO活動に関するサポートをおこなう。

①-1：作業用機器の貸し出し

コピー、ラミネート、裁断機、作業スペースなどを自由に私用できる施設を開放。（※一部有料）

①-2：備品の貸し出し ※会員のみ（基本無料）

プロジェクター、デジカメ、高圧洗浄機、非接触型体温計、Webカメラ、タープテント

NPO関連書籍、NPOゲーム、防災ゲーム、段ボールベッド、段ボールトイレ、防災紙芝居

防災人形劇セット、アンケート用鉛筆、などの貸し出しをおこなう。

①-3：NPO よろづ相談

基本無料で対応。実務が発生する場合は、えんの下の力持ちの料金に準ずる。

出張相談会として、奈良市ボランティアインフォメーションセンターにて毎月第3水曜日に開催。

①-4：えんの下の力持ち

アンケート集計、イベント用ツール作成、広報物制作、その他事務関連作業を有償にて請け負う。

①-5：寄贈物品のコーディネート

企業団体や個人からの物品寄付を受付け、必要としているNPO等へ提供する。

わらしへ市とも連携し、地域住民からの物品寄付をNPO等へつなげることで、地域住民が気軽にNPO等を知り、関わるきっかけを作る。

毎年コーディネートしている明治製菓のお菓子寄贈については、小規模団体でも寄贈を受けられるよう、当法人が一括で寄贈を受け、それを分配するしくみをつくる。

①-6：NPO 何でもお助け隊『ねこのて』（仮）

会員限定サービスとして、チラシ発送作業や、イベント準備作業などをサポート。

扱い手は、福祉事業部の利用者や社会とつながりにくい状況下にある若者を想定。

②委員派遣・事業協力等

※網掛けは報酬有りの案件

実行委員等	事務局団体名
生駒市市民活動推進センターららポート登録団体代表委員会 生駒市の市民活動の推進 『らら♪まつり』企画運営・広報物制作	生駒市市民活動推進センターららポート
市民参画及び協働によるまちづくり審議会	奈良市地域づくり推進課協働推進係
ソーシャルビジネスプランコンペ edge2024 プレーヤーへのメンタリングおよびコンペ運営（通年）	NPO 法人 edge
裁判員 ACT～裁判への市民参加を進める会～ 啓発セミナーの企画実施等	(社福)大阪ボランティア協会
ひきこもりサポーター『まんまの会』 サポーター研修会への参加および当事者支援	ひきこもりサポーター『まんまの会』
若者サポートセンター「Restartなら（リスなら）」 登録相談員、アドバイザー	若者サポートセンター「Restartなら（リスなら）」
全国NPO事務支援カンファレンス認定講師 全国一斉セミナー＆検定開催協力	全国NPO事務支援カンファレンス
I-Net ゆるやかな情報交流	参画団体が持ち回りで担当
生駒市放課後等デイサービス協議会 ゆるやかな情報交流、制度に関する勉強会	参画団体が持ち回りで担当 今年度は当法人
関西NPO支援センターネットワーク（KNN） ゆるやかな情報交流	参画団体が持ち回りで担当
近畿圏NPO支援センター連絡会議 近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度事業の実施 および、支援センター勉強会の開催	近畿労働金庫
SAVE JAPAN プロジェクトの実施 生物多様性の啓発イベントの企画実施	(株)損害保険ジャパン 認定NPO法人日本NPOセンター
くらしのブンカサイ仲間の会運営委員会 イベント開催に向けた企画および広報物等の制作	くらしのブンカサイ仲間の会

奈良市スポーツボランティア同好会 監事	奈良市スポーツボランティア 同好会
トヨタ財団国内助成プログラム説明会 奈良会場での企画運営	(公財) トヨタ財団
子どものひとりぼっちゼロ推進協議会(仮) 西福祉センターを活用した子どもの居場所と課題解決の 場の運営	奈良市社会福祉協議会

(3) 生涯学習支援

①講師派遣・出前講座

市民活動や社会課題・防災等をテーマとした講演会・セミナーへの講師派遣および出前講座を実施。

②講座企画

講座名	内容
障がい児の進路について	高校卒業後の進路について、福祉制度や特例子会社など様々な事例を紹介。
昔話法廷	昔話を題材にした擬似裁判員体験
ミニ勉強会	えん会とのコラボ企画として、社会をテーマにしたミニ勉強会を開催

③防災啓発

プロジェクト名・実施時期	内容
防災学習会（不定期）	ゲーム感覚で学べる防災学習を実施
防災マルシェ ・10/19(日)	ベルステージにて、防災に関するイベントを開催 ※今年度は生駒市危機管理課と共に開催
防災出前講座（不定期）	自治会、学童保育、企業、福祉事業所等へ防災出前講座を実施

④通信制高校代々木高等学校生駒サテライト校

代々木高等学校と提携し、生駒サテライト校として生徒へのレポート指導等を実施する。

また、課外授業としてビジコン見学や裁判傍聴、農業体験、生徒たちによる修学旅行企画など社会体験プログラムを導入する。

⑤視察・インターん受け入れおよびコーディネート

市民活動に関心のある人を対象に、視察やインターんの受入およびニーズに応じて他団体へつなぐ等のコーディネートを実施。

(4) 地域活性化

①ソーシャルえん足

奈良県内および周縁地域にて、あまり知られていない魅力溢れるスポットへ赴く大人の遠足を実施。

(5) 相互交流

①えん会

5/31(土)定期総会終了後

9/13(土)、12/13(土)、3/14(土) ※いずれもミニ勉強会とコラボ開催

②わらしへ市

企業団体や、個人から寄せられた寄附物品を自由に持ち帰ってもらえるマーケットを開催。

持ち帰る際は、いくらかのカンパもしくは、物品を寄付した際にもらえるチケットとの交換とする。物品の交換を通じて地域住民同士や本法人の顧客との交流を図るだけでなく、ゴミの減量による環境保護、防災、生活困窮者支援等といった多岐に渡る効果を狙う。

開催日：毎月第3土曜日（初回：4/19(土)）11時～16時

会場：当法人本部1F（生駒市谷田町1281-3）

今年度は、近畿ろうきん『働く人と子どもの明日を応援 2025～人が人を支えるつながりづくり～』の助成を活用し、このしくみを水平展開することを目的に、6/14(土)、12月、3月にペルステージにて特別開催する。

③ボドゲスペース『遊えん家』

ボードゲームで自由に遊べる空間をオープン。障がいのある無し、老若男女に関わらず共にゲームを楽しむことで、新たなつながりづくりを推進する。

開催日：毎月第4日曜日 13時～18時（※別日程での貸し切り開催や出張開催も視野に入れる）

会場：当法人本部1F（生駒市谷田町1281-3）

(6) その他

賛助会員の活用

これまで賛助会員の皆さまからいただいた会費を活用するにあたり、当法人職員および理事に対して、その活用方法について公募する。寄せられた提案については賛助会員による投票により実施の可否を決定する。

予算額：15,000円（2024年度分）

公募スケジュールおよび要項：理事会にて最終確定